

第144回秋田県種苗交換会 選賞一覧表



審査概評

第144回秋田県種苗交換会 審査長 佐藤孝夫

本年は1月から2月にかけて雪の日が多く、特に県南内陸部では短期間にまとまった雪が降り積もる大雪と暴風雪に見舞われ、横手のアメダスでは2月5日、観測史上最大となる203cmの積雪を観測するなど、記録的な大雪となりました。この大雪によりパイプハウスの倒壊、果樹の枝折れなどで大規模な農業被害が発生しました。4月から5月にかけては天気は周期的に変わりましたが、4月下旬には上空の寒気の影響による低温、5月下旬には寡照となりました。6月は晴れや曇りの日が多く、平年よりも降水量が少なく、高温傾向となりましたが、中旬には一部地域で降雹があり、農作物への被害がみられました。梅雨入りは6月19日ごろと平年より4日遅くなり、梅雨明けは7月16日ごろと平年より12日早くなりました。7月から8月上旬は高温傾向となり、連日の真夏日となりましたが、8月中旬は一転して低温傾向となりました。9月下旬から10月上旬は高温傾向で経過しました。

本年は、このように1月の大雪、4月下旬の低温、6月の降雹、夏季の高温等で農産物の生育に影響を及ぼす気象となりましたが、生産者の皆様のご努力により、1,216点が出品され、各部門とも品質の高い農産物等が多く見られました。

審査にあたっては、それぞれの農産物の品種特性、品質、市場性などに重点を置いて厳正かつ公平に審査を行いました。

各部門の審査概要は次のとおりです。

第1部 水 稲

出品点数は35点で、品種別では「あきたこまち」が全体の43%で、次いで「めんこいな」が20%、「つぶぞろい」、「たつこもち」がそれぞれ6%と

なっております。地域別では、仙北の出品点数が20点と最も多く、秋田が8点、北秋田、平鹿がそれぞれ3点、山本が1点となっております。

本年の水稲は、5月下旬の日照不足や7月中旬から8月上旬にかけての高温による出穂の早まりなどにより、作柄への影響が懸念されましたが、平年に比べ穂数はやや多く、一穂粒数は並で㎡当たり粒数はやや多くなっております。

出品物は茎葉や穂のボリューム感に優れ、粒の充実の良いものが多く、きめ細やかな栽培管理により厳しい気象条件を克服した農家の高い技術と努力の成果がうかがわれます。

品種別入賞点数は「あきたこまち」が7点、「めんこいな」が3点、「秋のきらめき」、「ゆめおぼこ」、「ひとめぼれ」、「つぶぞろい」、「秋田酒こまち」が各1点となっております。地域別入賞点数は仙北が8点、秋田が3点、北秋田が2点、山本、平鹿が各1点となっております。入賞した出品物はいずれも品種特性がよく表され、根や茎葉も健全で粒の充実が良く、病虫害のない秀品揃いで、栽培管理技術の高さが評価されます。

第2部 畑作物及び工芸作物

出品点数は125点で、このうち豆類が58点で46%を占め、いも類が16点で13%、葉たばこが38点で30%、ホップが13点で10%となっております。

豆類の出品は、子実大豆が34点、株大豆が21点、落花生が3点で、大豆の品種は子実大豆、株大豆ともにすべて「リュウホウ」となっております。7月中旬から8月上旬までの高温少雨や8月中下旬の日照不足を克服し、子実大豆は、粒大や粒揃いに優れ、病虫害の少ない優品揃いです。株大豆は、病虫害が

少なく、健全な株が多く出品されております。

いも類の出品は、馬鈴しょが「男爵」など2品種5点、甘しょが「紅はるか」など5品種11点で、品種の特性をよく表わした、形状・品質の揃ったものになっております。

葉たばこの出品は、すべて第1バーレー種「たいへい」で、品種の特性が発揮されたものとなっております。

ホップの出品は、すべて「キリン2号」となっており、毬花（まりばな）の香気と揃いに優れたものとなっております。

第3部 果 樹

本年の総出品点数は156点で、県北、中央、県南別では、県北が41%、中央が22%、県南が37%です。地域別では平鹿が38点で全体の24%を占めて最も多く、次いで鹿角が31点で20%、秋田が29点で19%、山本が20点で13%の順になっています。

樹種別では、りんごが81点で全体の52%と多く、次いで日本なしが49点で31%、ぶどうが15点で10%で、西洋なし、くりが各2点、キウイフルーツが1点、果実包装荷造のりんごが6点で、6樹種30品種が出品されています。

品種別では、りんごの「ふじ」が全出品点数の19%と最も多く、次いで日本なしの「あきづき」が15%、りんごの「秋田紅あかり」9%、日本なしの「秋泉」とぶどうの「シャインマスカット」が各6%とこれら5品種で55%を占めました。さらに、りんごの「シナノスイート」、「玉林」、「ぐんま名月」、日本なしの「かほり」が各4%ずつを占めています。

出品物の特徴として、りんごでは優良着色系の「ふじ」や甘系で鮮紅色が特徴の「秋田紅あかり」、日本なしでは果形が良好で大玉の「あきづき」や高糖度で食味が良好な「秋泉」、ぶどうでは種なし大粒で皮ごと食べられる「シャインマスカット」など、消費者に人気のある市場性が高い品種への更新が着実に進んでいることがうかがえます。

本年は、県南部では豪雪による被害に見舞われ、また、4月中下旬には全県的に度重なる低温や降霜に遭遇し、さらには7月中旬から8月上旬にかけての猛暑で果実の肥大抑制や日焼け果の発生がみられるなど、減収や品質低下が心配される厳しい栽培環境となりました。

このような中であっても、病害虫の発生は一部にとどまり、出品された果実はいずれも品種固有の形状や大きさを示し、糖度が高く食味の良いものに仕

上がっています。これは、適正な肥培管理や病害虫防除など優れた栽培管理の成果であり、栽培技術の高さがうかがえます。

第4部 野 菜

出品点数は571点で、開催地の山本からの出品が235点で最も多く、次いで北秋田96点、平鹿66点となっております。県北・中央・県南別の割合は、それぞれ61%、13%、26%で県北から多く出品されています。

種類別では、葉菜類が68%と最も多く、次いで果菜類が22%、根菜・いも類が10%となっております。

本年は、8月上旬までの高温乾燥により、果菜類は樹勢の低下、葉菜類は出芽、活着不良や生育停滞などの影響を受けました。

このような条件下でありましたが、総出品数は昨年を上回りました。出品物は、適切に肥培管理され、品質を高水準に維持されたものが多く、生産者の努力の成果が認められます。

品目別には、ネギは山本の59点をはじめ、全体で105点と多く、品質の地域格差は少なく、広域的な技術の定着がみられます。キャベツは開催地を中心に市場性の高いものが出品され、主産地として栽培技術の高さが認められます。トマトは全県から出品がみられます。

ウドやミニトマト、キュウリ、イモ類は出品に地域性があるものの、高品質なものが多く、産地で栽培技術が共有されていることがうかがわれます。

第5部 花 き

出品点数は204点で、地域別では秋田43点、由利41点と多く、次いで平鹿、仙北、北秋田となっております。類別では1類の切花類が175点、4類の種苗類が25点、2類の枝物類が3点、3類の鉢物類が1点となっております。品目別ではキク類が65点で最も多く、次いでダリアが59点、リンドウ24点であり、近年、本県が生産振興に取り組んできた品目を中心とした出品構成となっております。

本年は、7月中旬から8月上旬の高温と、8月中旬からの気温低下などの不安定な気象条件により、収穫期が前進または遅延した品目があり、栽培管理が難しい年でした。このような条件下でも、市場性の高い秀品が数多く出品されています。

ダリアは、県重点品目の一つであり、品種構成は県オリジナル品種の「NAMA H A G Eダリア」シリーズが中心で、いずれの出品物も多彩な花型や花

色等の品種特性がよく発揮されております。リンドウは花色や葉色が鮮やかで花段数が多くボリューム感のある出品物が多くあります。トルコギキョウは、出品点数は少ないものの、八重フリンジ咲き品種を中心に、側枝や花蕾を整理し大輪に仕立てた高品質な出品物がみられます。キク類では、輪ギクに代わり、洋花指向の需要を捉えたスプレーギクや、スプレーギクのわき芽を除去し一輪仕立てとしたディスプレイバッドマムが増えております。種苗類では、株揃いの良いパンジーとピオラが多く出品されております。

今回の花き部門では、受賞者を始めとするリーダー層から若年層まで、幅広い年代からまんべんなく出品があり、本県花き産業の持続的発展が期待されます。

第6部 農林園芸加工品

総出品点数は、56点で、そのうち農林園芸加工品24点、農林工芸品が32点となっております。

地域別では、平鹿21点、北秋田13点、山本10点、鹿角、仙北は各5点、由利、雄勝は各1点となっております。

農林園芸加工品では、漬物6点、瓶詰4点、乾燥野菜類6点、飲料1点、その他加工品などが出品されております。

出品物の特徴として、デザインや味付けに工夫が感じられる高品質な出品物が多くなっております。農林工芸品は、伝統的な技術を生かしたわら細工も数多く出品されており、いずれも力作で、素材を上手に活用した、技術の高さがうかがえる出品となっております。

第7部 畜産品及び飼料

出品点数は30点で、畜産品8点、飼料22点となっております。

畜産品では、はちみつが7点、鶏卵が1点出品されております。

はちみつは、百花蜜(ひゃっかみつ)が3点、アカシアが2点、トチ及びソバが1点で、地域別では鹿角が3点、由利が2点、山本及び平鹿が1点となっております。全県的に開花時期が例年より遅く、採蜜量は例年より少なくなっております。

出品物は、いずれも鮮明度・色沢に優れたものが多く、香気・風味ともに良好で蜜源の特徴をよく備えており、糖度も充分で良い品質となっております。

飼料は、イネホールクロップサイレージが12点、乾牧草が9点、トウモロコシサイレージが1点の出

品であり、地域別では由利が10点、仙北が7点、平鹿が3点、雄勝が2点です。

本年の気象経過から、一番草の刈取適期に天候不順が続き、収穫が難しい年でありましたが、品質の良いものが多く出品されております。

入賞した出品物は飼料自給率向上のための積極的な取組の成果として、穂及び茎・葉の割合、品質調整が適切で、雑草等の混入も少なく、触感、香気に優れた良質な粗飼料となっております。

第8部 林産品

出品点数は39点で、品目別では生しいたけ32点、乾しいたけ3点、なめこ4点となっております。その中で、生産額において県内の主要農産品目となっている生しいたけは、出品点数の8割を占め、それぞれ肉厚で鮮度の良いものが出品されており、品質格差が非常に少なくなっています。

乾しいたけは、カサ表面の花模様が白から薄茶色で割れ目がはっきりしており、高品質のものが出品されております。なめこは、原木栽培特有の肉厚で鮮明な色沢と雑物の付着が少ない、形状・品質の揃った出品物となっており、全体的に品質格差の少ない、高品質のものが多く出品されております。

品目別入賞点数は、生しいたけが7点、乾しいたけが1点となっており、いずれも高品質で、特にカサの色沢が鮮明で付着物が少ないなど、生産技術の高さがうかがわれます。

学校農園展審査講評

秋田県教育庁北教育事務所山本出張所

指導主事 柴田 淳

今年度、第39回秋田県学校農園展の開催に当たり、小学校3校、中学校2校、特別支援学校6校の計11校から御応募いただきました。農作物、活動記録及び作文からは、友達と協力したり、地域の方々の支援を受けたりしながら、生き生きと農園活動に取り組む子どもたちの様子が感じられ、とてもうれしく思います。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、各学校とも様々な工夫をして農作物づくりに取り組んでおり、子どもたちの確かな成長につながっています。

今年度はサツマイモとカボチャを中心に、ジャガイモや大根、水稻などの農作物が出品されました。また、地域の特産品であるネギや里芋、大豆、にんにく、にんじんなどの栽培に取り組んだ学校もありました。すべての農作物や加工品が、地域の特色や地域素材のよさを生かして作られていました。

各学校の活動記録には、土作りから苗植え、水やり、収穫までの一連の流れが分かりやすくまとめられていました。また、写真には、作物の成長を楽しむ姿、収穫を喜ぶ姿、自分たちで育てた作物を食べて満足する姿などが収められており、充実した活動の様子が伝わってきました。記録の中には、肥料の三要素の配合割合と実の成長について実証実験をするなど、研究の視点をもった取組をし、詳しくまとめているものもありました。どの学校も、地域の方々からの協力を得ながら取り組むことで、地域とのつながりを深めていると感じました。

作文には、雑草処理、病害虫の駆除及び鳥や小動物による食害から守ることなど、実際に体験したからこそ分かる作物育成の苦労について、子どもらしい視点で表現されているものが多く、読んでいて引き込まれました。また、収穫した野菜をおいしく食べる方法について独自に研究し、より多くの友達に野菜を好きになってもらいたいという気持ちをユニークに書き綴っているものもありました。農園活動に取り組んだことで、地域の自然環境の保全や、地域とのつながりのもち方についても目を向けるようになっており、子どもたちが自身の成長を実感していることが伝わってきました。

子どもたちは農作業体験を通して、農家の方々の作物に対する愛情や日々の苦勞に気づき、感謝の気持ちをもつとともに、働くことの意義や自分の将来の生き方についても考えるようになります。こうした学びの積み重ねにより、一人一人の豊かな人間性が涵養されます。今年度、能代市で行われた学校農園展をきっかけに、秋田県が目指す郷土の自然や風土を愛する子どもの育成に結び付けるとともに、農作物づくりに関心をもつ子どもや学校が更に増えることを期待しています。

受賞者

記載は、種類・品種名・市町村名・JA名・受賞者名の順。

農林水産大臣賞

水	稲	あきたこまち	大仙市	秋田おぼこ	岡本恵美子
株	大豆	リュウホウ	大館市	あきた北	向田大豆種子生産組合
日本	なし	あきづき	潟上市	あきた湖東	高橋龍一
ネ	ギ	大河の轟き	能代市	あきた白神	(農)成合アグリファーム
切花(ダ)	リア)	NAMAHAGEラブ	秋田市	秋田なまはげ	(農)平沢ファーム 代表理事 齊藤又右衛門
瓶	詰	トマト加工品たれ	東成瀬村	こまち	(農)なるせ加工研究会
乾	牧草	リードカナリーグラス	由利本荘市	秋田しんせい	相庭安一
生	しいたけ	北研705号	横手市	秋田ふるさと	柿崎文夫

秋田県知事賞

水	稲	あきたこまち	能代市	あきた白神	木村徹
水	稲	あきたこまち	井川町	あきた湖東	渡部津代志
水	稲	あきたこまち	大仙市	秋田おぼこ	岡本恵美子
水	稲	めんこいな	横手市	秋田ふるさと	谷口久寿
株	大豆	リュウホウ	大館市	あきた北	向田大豆種子生産組合
大	豆	リュウホウ	大館市	あきた北	向田大豆種子生産組合
大	豆	リュウホウ	秋田市	秋田なまはげ	三浦孝市
葉	こ	第1バーレー種たいへい	大館市	あきた北	花田博志
葉	こ	第1バーレー種たいへい	大仙市	秋田おぼこ	工藤正義
ホ	ッ	キリン2号	大館市	あきた北	畠山豊実
日本	なし	あきづき	潟上市	あきた湖東	高橋龍一
日本	なし	秋泉	男鹿市	秋田なまはげ	鈴木作雄
りん	ご	秋田紅あかり	鹿角市	かづの	木村光夫
りん	ご	ふじ	鹿角市	かづの	兎沢光晴
りん	ご	ふじ	横手市	秋田ふるさと	佐藤謙一
ウ	ド	東武鯉玉2号	能代市	あきた白神	桜田和浩
カ	チャ	恋するマロン	北秋田市	秋田たかのす	佐藤利子
キ	ベ	あさしお	能代市	あきた白神	見上隆太
キ	ベ	あさしお	能代市	あきた白神	佐藤信也

キ ュ ウ リ	ニ ー ナ Z	羽 後 町	う ご	平 柳 俊 明
ト マ ト	り ん か 409	鹿 角 市	か づ の	斉 藤 賢 一
ト マ ト	り ん か 409	美 郷 町	秋 田 お ば こ	梅 川 尚 季
ネ ギ	大 河 の 轟 き	能 代 市	あ き た 白 神	(農)成合アグリファーム
ネ ギ	大 地 の 響 き	羽 後 町	う ご	遠 藤 正 人
ネ ギ	夏 扇 3 号	能 代 市	あ き た 白 神	工 藤 武 一 郎
ネ ギ	夏 扇 パ ワ ー	能 代 市	あ き た 白 神	大 高 晃
ホ ウ レ ン ソ ウ	サ ン ホ ー プ セ ブ ン	大 仙 市	秋 田 お ば こ	熊 谷 勝 雄
ミ ニ ト マ ト	サ マ ー 千 果	由 利 本 荘 市	秋 田 し ん せ い	三 浦 佑
ミ ニ ト マ ト	千 果	三 種 町	秋 田 や ま も と	畠 山 秀 友
ヤ マ ノ イ モ	大 館 1 号	大 館 市	あ き た 北	松 澤 幹 基
切 花 (ス プ レ ー ギ ク)	セ イ ヒ ラ リ ー	美 郷 町	秋 田 お ば こ	加 藤 征 輝
切 花 (ダ リ ア)	N A M A H A G E ラ ブ	秋 田 市	秋 田 な ま は げ	(農)平沢ファーム 代表理事 齊藤又右衛門
切 花 (ダ リ ア)	N A M A H A G E レ デ ィ	大 館 市	あ き た 北	高 松 玲 奈
切 花 (デ ィ ス バ ッ ド マ ム)	ロ サ ー ノ シ ャ ル ロ ッ テ ー	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	菊 地 忠 真
切 花 (ト ル コ ギ キ ヨ ウ)	ア ン バ ー ダ ブ ル シ ョ コ ラ	羽 後 町	う ご	齋 藤 伸 一
切 花 (リ ン ド ウ)	深 山 秋	羽 後 町	こ ま ち	安 倍 久 夫
漬 物	漬 物 組 み 合 わ せ 品	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	浅 舞 婦 人 漬 物 研 究 会
瓶 詰	ト マ ト 加 工 品 た れ	東 成 瀬 村	こ ま ち	(農)なるせ加工研究会
は ち み つ	ア カ シ ア	鹿 角 市	か づ の	安 保 茂 人
乾 牧 草	リ ー ド カ ナ リ ー グ ラ ス	由 利 本 荘 市	秋 田 し ん せ い	相 庭 安 一
生 し い た け	北 研 705 号	鹿 角 市	か づ の	児 玉 廣 進
生 し い た け	北 研 705 号	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	柿 崎 文 夫

全国農業協同組合中央会会長賞

水 稲	あ き た こ ま ち	井 川 町	あ き た 湖 東	渡 部 津 代 志
大 豆	リ ュ ウ ホ ウ	大 館 市	あ き た 北	向 田 大 豆 種 子 生 産 組 合
り ん ご	ふ じ	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	佐 藤 謙 一
ト マ ト	り ん か 409	美 郷 町	秋 田 お ば こ	梅 川 尚 季
切 花 (デ ィ ス バ ッ ド マ ム)	ロ サ ー ノ シ ャ ル ロ ッ テ ー	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	菊 地 忠 真
瓶 詰	ト マ ト 加 工 品 た れ	東 成 瀬 村	こ ま ち	(農)なるせ加工研究会
は ち み つ	ア カ シ ア	鹿 角 市	か づ の	安 保 茂 人
生 し い た け	北 研 705 号	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	柿 崎 文 夫

各部優秀賞

全国農業協同組合連合会秋田県本部運営委員会会長賞

ウド | 東武鯉玉2号 | 能代市 | あきた白神 | 桜田和浩

全国農業協同組合連合会秋田県本部運営委員会会長賞

切花(リンドウ) | 深山秋 | 羽後町 | こまち | 安倍久夫

秋田県厚生農業協同組合連合会経営管理委員会会長賞

りんご | 秋田紅あかり | 鹿角市 | かづの | 木村光夫

全国共済農業協同組合連合会秋田県本部運営委員会会長賞

ホップ | キリン2号 | 大館市 | あきた北 | 畠山豊実

秋田県農業共済組合組合長賞

水稻 | あきたこまち | 能代市 | あきた白神 | 木村徹

秋田県畜産農業協同組合組合長賞

乾牧草 | リードカナリーグラス | 由利本荘市 | 秋田しんせい | 相庭安一

秋田県農業公社理事長賞

大豆 | リュウホウ | 秋田市 | 秋田なまはげ | 三浦孝市

秋田県農業会議会長賞

漬物 | 漬物組み合わせ品 | 横手市 | 秋田ふるさと | 浅舞婦人漬物研究会

農林中央金庫秋田支店長賞

キャベツ | あさしお | 能代市 | あきた白神 | 佐藤信也

秋田市市長会会長賞

生しいたけ | 北研705号 | 鹿角市 | かづの | 児玉廣進

秋田県町村会会長賞

キュウリ | ニーナZ | 羽後町 | うご | 平柳俊明

特別賞

全国たばこ耕作組合中央会会長賞

葉たばこ | 第1バーレー種たいへい | 大仙市 | 秋田おばこ | 工藤正義

日本たばこ産業株式会社東日本原料本部長賞

葉たばこ | 第1バーレー種たいへい | 大館市 | あきた北 | 花田博志

秋田県たばこ耕作組合組合長賞

葉たばこ | 第1バーレー種たいへい | 大館市 | あきた北 | 花田博志

秋田県たばこ耕作組合組合長賞

葉たばこ | 第1バーレー種たいへい | 大仙市 | 秋田おばこ | 工藤正義

秋田魁新報社賞

切花(トルコギキョウ) | アンバーダブルショコラ | 羽後町 | うご | 齋藤伸一

家の光協会会長賞

水 稲 | め ん こ い な | 横 手 市 | 秋田ふるさと | 谷 口 久 寿

日本農業新聞会長賞

日 本 な し | 秋 泉 | 男 鹿 市 | 秋田なまはげ | 鈴 木 作 雄

1 等 賞

水 稲 | あ き た こ ま ち | 能 代 市 | あきた白神 | 木 村 徹

秋田県知事賞と受賞者と同じ ほか41名

2 等 賞

水	稲	あ き た こ ま ち	大 湯 村	大 湯 村	松 橋 勝 悦
水	稲	あ き た こ ま ち	大 仙 市	秋 田 お ば こ	中 嶋 洋 子
水	稲	あ き た こ ま ち	大 仙 市	秋 田 お ば こ	佐 藤 尚 志
水	稲	秋 の き ら め き	大 仙 市	秋 田 お ば こ	須 田 忠 一
水	稲	ゆ め お ば こ	大 仙 市	秋 田 お ば こ	佐々木 雅 憲
株 大	豆	リ ュ ウ ホ ウ	秋 田 市	秋 田 な ま は げ	鹿野戸大豆生産組合 代表 堀井 隆博
大	豆	リ ュ ウ ホ ウ	大 館 市	あ き た 北	中 田 好 雄
大	豆	リ ュ ウ ホ ウ	湯 上 市	あ き た 湖 東	羽立神明営農組合 組合長 伊藤 力
大	豆	リ ュ ウ ホ ウ	秋 田 市	秋 田 な ま は げ	安 田 正 憲
馬 鈴 し	よ	男 爵	美 郷 町	秋 田 お ば こ	照 井 正 明
葉 た ば こ	第 1	バーレー種たいへい	大 館 市	あ き た 北	山 下 鉄 則
葉 た ば こ	第 1	バーレー種たいへい	北 秋 田 市	秋 田 た か の す	渡 部 健 一 郎
葉 た ば こ	第 1	バーレー種たいへい	横 手 市	秋 田 ふ る さ と	福 田 正 人
ホ ッ プ	キ リ ン 2 号		大 館 市	あ き た 北	畠 山 幸 夫
日 本 な し	あ き づ き		能 代 市	あ き た 白 神	山 田 孟 生
日 本 な し	あ き づ き		男 鹿 市	秋 田 な ま は げ	鈴 木 作 雄
日 本 な し	秋 泉		湯 上 市	あ き た 湖 東	高 橋 真 澄
日 本 な し	南 水		男 鹿 市	秋 田 な ま は げ	鈴 木 作 雄
ぶ ど う	シャインマスカット		横 手 市	秋 田 ふ る さ と	高 橋 陽 悦
ぶ ど う	ピ オ ー ネ		横 手 市	秋 田 ふ る さ と	鈴 木 貞 子
り ん ご	秋 田 紅 あ かり		鹿 角 市	か づ の	佐 藤 志 峰
り ん ご	王 林		横 手 市	秋 田 ふ る さ と	佐 藤 秀 昭
り ん ご	シ ナ ノ ゴ ー ル ド		湯 沢 市	こ ま ち	遠 藤 幸 作
り ん ご	ふ じ		横 手 市	秋 田 ふ る さ と	佐 藤 勉
り ん ご	ふ じ		湯 沢 市	こ ま ち	松 浦 政 弘
り ん ご 包 装 荷 造	シ ナ ノ ス イ ー ト		横 手 市	秋 田 ふ る さ と	増 田 選 果 場

第144回種苗交換会選賞一覧

ウ	ド	東武鯉玉2号	能代市	あきた白神	畑山 強
カボチャ	恋するマロン	北秋田市	秋田たかのす	伊東 正博	
カリフラワー	美星	横手市	秋田ふるさと	石塚 正孝	
キヤベツ	YCRこんごう	能代市	あきた白神	佐藤 カネ子	
キヤベツ	あさしお	大館市	あきた北	佐藤 謙一	
キヤベツ	あさしお	秋田市	秋田なまはげ	渡辺 ヨシ子	
キヤベツ	あさしお	大潟村	大潟村	松井 仁	
キヤベツ	冬藍	能代市	あきた白神	熊谷 孝	
キユウリ	ニーナZ	羽後町	うご	平柳 鉄也	
キユウリ	まりん	美郷町	秋田おぼこ	高橋 勝美	
サトイモ	土垂	横手市	秋田ふるさと	田代 和博	
せり	改良三関	湯沢市	こまち	千葉 章子	
トマト	桃太郎ワンダー	鹿角市	かづの	安保 寿男	
トマト	りんか409	鹿角市	かづの	安保 豊	
トマト	りんか409	大仙市	秋田おぼこ	細谷 雅春	
ニンジン	山内にんじん	横手市	秋田ふるさと	高橋 昇	
ネギ	夏扇パワ一	能代市	あきた白神	佐々木 重春	
ネギ	夏扇パワ一	能代市	あきた白神	清水 智喜	
ネギ	夏扇パワ一	能代市	あきた白神	木村 徹	
ネギ	夏扇パワ一	能代市	あきた白神	(株)ベジレックス	
ネギ	夏扇パワ一	能代市	あきた白神	(有)大和農園	
ネギ	夏扇パワ一	八峰町	秋田やまもと	森田 光	
ネギ	夏扇パワ一	羽後町	うご	高橋 聖	
ネギ	羽緑一本太	能代市	あきた白神	青羽 久法	
ネギ	森の奏で	能代市	あきた白神	(株)福司農地管理事務所	
ハクサイ	秋の祭典	大仙市	秋田おぼこ	小山田 ひとみ	
ホウレンソウ	福兵衛	横手市	秋田ふるさと	古内 雅彦	
ホウレンソウ	福兵衛	横手市	秋田ふるさと	佐々木 広也	
ミニトマト	サンチェリーピュアプラス	由利本荘市	秋田しんせい	今野 純一	
ミニトマト	千果	三種町	秋田やまもと	牧野 昌子	
ミニトマト	千果	由利本荘市	秋田しんせい	半田 弘子	
ヤマノイモ	大館1号	大館市	あきた北	津嶋 エミ子	
切花(小ギク)	弓まどか	横手市	秋田ふるさと	佐藤 郁夫	
切花(ストック)	アーリーアローホワイトII	羽後町	うご	足田営農組合	
切花(スプレーギク)	セイフェスト	横手市	秋田ふるさと	加藤 勉	
切花(スプレーギク)	セイブルノ	北秋田市	秋田たかのす	根田 輝男	
切花(ダリア)	NAMAHAGEプリティ	大仙市	秋田おぼこ	今野 彰	
切花(ダリア)	ミツチャン	秋田市	秋田なまはげ	杉山 正彦	
切花(ディスプレイマム)	チスバ	にかほ市	秋田しんせい	佐藤 公世	

切花 (デイスバッドマム)	ロサーノシャルロッチェ	大 仙 市	秋田おばこ	川 越 慎 也
切花 (トルコギキョウ)	セレブリッチホワイト	横 手 市	秋田ふるさと	佐々木 隆 人
切花 (輪 ギ ク)	精 興 明 杯	横 手 市	秋田ふるさと	渡 部 賢 義
切花 (リ ン ド ウ)	深 山 ラ ブ 3	由 利 本 荘 市	秋田しんせい	石 田 晶 和
切花 (リ ン ド ウ)	夢 ハ イ ジ 4 号	東 成 瀬 村	こ ま ち	古 谷 実
種苗 (パ ン ジ ー)	デルタスピーディーイエロー	に か ほ 市	秋田しんせい	横 山 喜 代 和
種苗 (パ ン ジ ー)	パシオイエローブロッチ	に か ほ 市	秋田しんせい	戸 蒔 亨
種苗 (ビ オ ラ)	ピエナディーブマリーナ	秋 田 市	秋田なまはげ	石 井 正 伸
ジュ ー ス	プレミアムジュースMegumi	鹿 角 市	か づ の	戸 嶋 め ぐ み
洋 菓 子	和 梨 (幸 水) ゼ リ ー	鹿 角 市	か づ の	ジュボンかづの(株)
民 工 芸 品	胡 桃 か ご	三 種 町	秋田やまもと	及 位 専 蔵
は ち み つ	百 花 蜜	三 種 町	秋田やまもと	渡 辺 均
イネホールクroppサイレージ	あ き た こ ま ち	大 仙 市	秋田おばこ	佐 藤 康 晴
生 し い た け	北 研 705 号	横 手 市	秋田ふるさと	佐 藤 隆 夫
乾 し い た け	菌 興 115	三 種 町	秋田やまもと	田 中 隆 一

3 等 賞

水	稲	あ き た こ ま ち	大 仙 市	秋田おばこ	檜 尾 清 逸
水	稲	秋 田 酒 こ ま ち	五 城 目 町	あきた湖東	小 玉 重 博
水	稲	つ ぶ ぞ ろ い	大 仙 市	秋田おばこ	松 本 良 悦
水	稲	ひ と め ぼ れ	大 仙 市	秋田おばこ	須 田 雅 一
水	稲	め ん こ い な	大 館 市	あ き た 北	富 樫 英 悦
水	稲	め ん こ い な	北 秋 田 市	秋田たかのす	亀 山 春 樹
株 大	豆	リ ュ ウ ホ ウ	秋 田 市	秋田なまはげ	佐々木 耕 悦
株 大	豆	リ ュ ウ ホ ウ	秋 田 市	秋田なまはげ	(農)平 沢 ファーム 代表理事 齊藤又右衛門
大	豆	リ ュ ウ ホ ウ	潟 上 市	あきた湖東	田 仲 重 喜
大	豆	リ ュ ウ ホ ウ	潟 上 市	あきた湖東	矢 坂 集 団 転 作 組 合 代表 菊地 栄 進
大	豆	リ ュ ウ ホ ウ	井 川 町	あきた湖東	渡 部 曜 子
大	豆	リ ュ ウ ホ ウ	秋 田 市	秋田なまはげ	左 手 子 大 豆 部 会 代表 佐々木 真 借
大	豆	リ ュ ウ ホ ウ	大 仙 市	秋田おばこ	戸 澤 久 徳
甘 し	よ	紅 は る か	羽 後 町	う ご	今 泉 麗 子
葉 た ば こ	こ	第 1 パ ー レ ー 種 たい へ い	大 館 市	あ き た 北	成 田 く に 子
葉 た ば こ	こ	第 1 パ ー レ ー 種 たい へ い	由 利 本 荘 市	秋田しんせい	小 松 正 武
葉 た ば こ	こ	第 1 パ ー レ ー 種 たい へ い	大 仙 市	秋田おばこ	佐 々 木 彰
葉 た ば こ	こ	第 1 パ ー レ ー 種 たい へ い	仙 北 市	秋田おばこ	木 村 明 夫
ホ ッ プ	プ	キ リ ン 2 号	大 館 市	あ き た 北	川 口 孝 栄
ホ ッ プ	プ	キ リ ン 2 号	横 手 市	秋田ふるさと	安 藤 正 士

第144回種苗交換会選賞一覧

日	本	な	し	あ	き	づ	き	能	代	市	あ	き	た	白	神	茂	内	信	也
日	本	な	し	あ	き	づ	き	三	種	町	秋	田	や	ま	も	安	藤	晃	一
日	本	な	し	あ	き	づ	き	三	種	町	秋	田	や	ま	も	佐	藤	五	百
日	本	な	し	か		ほ	り	三	種	町	秋	田	や	ま	も	野	呂	田	雅
日	本	な	し	秋			泉	能	代	市	あ	き	た	白	神	山	田	孟	生
日	本	な	し	南			水	男	鹿	市	秋	田	な	ま	は	藤	原	勇	気
ぶ		ど	う	シ	ャ	イ	ン	マ	ス	カ	ツ	ト	仙	北	市	秋	田	お	ば
ぶ		ど	う	シ	ャ	イ	ン	マ	ス	カ	ツ	ト	横	手	市	秋	田	ふ	る
り		ん	ご	秋	田	紅	あ	か	り				鹿	角	市	か	づ	の	阿
り		ん	ご	秋	田	紅	あ	か	り				北	秋	田	市	秋	田	た
り		ん	ご	王			林						北	秋	田	市	秋	田	た
り		ん	ご	ぐ	ん	ま	名	月					横	手	市	秋	田	ふ	る
り		ん	ご	シ	ナ	ノ	ゴ	ー	ル	ド			鹿	角	市	か	づ	の	阿
り		ん	ご	シ	ナ	ノ	ス	イ	ー	ト			横	手	市	秋	田	ふ	る
り		ん	ご	ふ			じ						横	手	市	秋	田	ふ	る
り		ん	ご	ふ			じ						横	手	市	秋	田	ふ	る
り		ん	ご	ふ			じ						湯	沢	市	こ	ま	ち	麻
り		ん	ご	紅		秋	光						湯	沢	市	こ	ま	ち	山
り		ん	ご	ゆ	め	あ	か	り					横	手	市	秋	田	ふ	る
ア	ス	バ	ラ	ガ	ス	ス	グ	デ	ル	Ⅱ			由	利	本	荘	市	秋	田
ウ				ド		紫	芽	の	白				能	代	市	あ	き	た	白
カ	ボ	チ	ャ			恋	す	る	マ	ロ	ン		北	秋	田	市	秋	田	た
カ	リ	フ	ラ	ワ	ー	バ	ロ	ッ	ク				横	手	市	秋	田	ふ	る
キ	ャ	ベ	ツ			Y	C	R	げ	っ	こ	う	能	代	市	あ	き	た	白
キ	ャ	ベ	ツ			Y	C	R	こ	ん	ご	う	能	代	市	あ	き	た	白
キ	ャ	ベ	ツ			Y	C	R	こ	ん	ご	う	能	代	市	あ	き	た	白
キ	ャ	ベ	ツ			Y	C	R	こ	ん	ご	う	能	代	市	あ	き	た	白
キ	ャ	ベ	ツ			Y	C	R	こ	ん	ご	う	能	代	市	あ	き	た	白
キ	ャ	ベ	ツ			あ	さ	し	お				大	館	市	あ	き	た	北
キ	ャ	ベ	ツ			あ	さ	し	お				北	秋	田	市	秋	田	た
キ	ャ	ベ	ツ			あ	さ	し	お				能	代	市	あ	き	た	白
キ	ャ	ベ	ツ			あ	さ	し	お				能	代	市	あ	き	た	白
キ	ャ	ベ	ツ			あ	さ	し	お				能	代	市	あ	き	た	白
キ	ャ	ベ	ツ			あ		ま	雪				美	郷	町	秋	田	お	ば
キ	ャ	ベ	ツ			冬			王				秋	田	市	秋	田	な	ま
キ	ャ	ベ	ツ			冬	風	2	号				大	仙	市	秋	田	お	ば
ゴ		ボ	ウ			柳	川	理	想				大	仙	市	秋	田	お	ば
サ	ト	イ	モ			土			垂				横	手	市	秋	田	ふ	る
サ	ト	イ	モ			土			垂				横	手	市	秋	田	ふ	る

第144回種苗交換会選賞一覧

令和3年11月4日(閉)

シ	シ	ト	ウ	つ	ば	き	グ	リ	ー	ン	北	秋	田	市	秋	田	た	か	の	す	撫	養	文	子											
ズ	ッ	キ	ー	ゼ	ル	ダ	ネ	ロ			上	小	阿	仁	村	秋	田	た	か	の	す	萩	野	徳	治										
せ			り	改	良	三	関				湯	沢	市			こ	ま	ち			松	山	則	子											
チ	ン	ゲ	ン	武				帝			能	代	市			あ	き	た	白	神	(有)	大	和	農	園										
ト		マ	ト	り	ん	か	409				大	仙	市			秋	田	お	ば	こ	松	本	光	平											
ト		マ	ト	桃	太	郎	8				湯	沢	市			こ	ま	ち			遠	藤		靖											
ト		マ	ト	桃	太	郎	ワ	ン	ダ	ー	湯	沢	市			こ	ま	ち			柿	崎	幸	子											
ニ	ン	ジ	ン	山	内	に	ん	じ	ん		横	手	市			秋	田	ふ	る	さ	と	松	本	清	之	助									
ニ	ン	ニ	ク	ホ	ワ	イ	ト	六	片		北	秋	田	市		秋	田	た	か	の	す	長	岐	美	輝	子									
ネ			ギ	関	羽	一	本	太			能	代	市			あ	き	た	白	神	福	司	金	治	郎										
ネ			ギ	関	羽	一	本	太			大	館	市			あ	き	た	北		武	田	秋	子											
ネ			ギ	夏	扇	4	号				大	館	市			あ	き	た	北		仲	澤	信	仁											
ネ			ギ	夏	扇	4	号				三	種	町			秋	田	や	ま	も	と	田	村	正	紀										
ネ			ギ	夏	扇	4	号				に	か	ほ	市		秋	田	し	ん	せ	い	佐	藤	光	博										
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	ー			羽	後	町			う		ご			佐	々	木	群											
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	ー			能	代	市			あ	き	た	白	神	伊	藤	俊	也											
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	ー			能	代	市			あ	き	た	白	神	(農)	能	代	グ	リ	ー	ン	フ	ァ	ー	ム	常	盤		
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	ー			能	代	市			あ	き	た	白	神	齊	藤		守											
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	ー			八	峰	町			秋	田	や	ま	も	と	佐	藤	レ	イ	子									
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	ー			潟	上	市			秋	田	な	ま	は	げ	今		成	美										
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	ー			潟	上	市			秋	田	な	ま	は	げ	安	田	悦	子										
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	ー			大	仙	市			秋	田	お	ば	こ	伊	澤		守											
ネ			ギ	夏	扇	パ	ワ	ー			横	手	市			秋	田	ふ	る	さ	と	藤	原	崇											
ネ			ギ	大	河	の	轟	き			大	仙	市			秋	田	お	ば	こ	藤	澤	大	和											
ハ	ク	サ	イ	秋	の	祭	典				仙	北	市			秋	田	お	ば	こ	新	山	良	和											
ハ	ク	サ	イ	秋	の	祭	典				大	仙	市			秋	田	お	ば	こ	佐	藤		学											
ピ	ー	マ	ン	京	ひ	か	り				由	利	本	荘	市	秋	田	し	ん	せ	い	佐	藤	近	美										
ブ	ロ	ッ	コ	ピ	ク	セ	ル				秋	田	市			秋	田	な	ま	は	げ	佐	藤	兼	吉										
ホ	ウ	レ	ン	ジ	ャ	ス	テ	ィ	ス		鹿	角	市			か	づ	の			菩	提	野	俊	道										
ホ	ウ	レ	ン	ド	ン	キ	ー				仙	北	市			秋	田	お	ば	こ	田	中	義	昭											
ホ	ウ	レ	ン	福		兵	衛				横	手	市			秋	田	ふ	る	さ	と	佐	藤	友	子										
ホ	ウ	レ	ン	福		兵	衛				横	手	市			秋	田	ふ	る	さ	と	(農)	館	合	フ	ァ	ー	ム	小	西	倉	之	助		
ミ	ニ	ト	マ	C	F	千	果				三	種	町			秋	田	や	ま	も	と	清	水	ノ	リ	子									
ミ	ニ	ト	マ	サ	ン	チェ	リー	ピ	ュ	ァ	由	利	本	荘	市	秋	田	し	ん	せ	い	佐	々	木	茂	子									
ミ	ニ	ト	マ	千			果				三	種	町			秋	田	や	ま	も	と	牧	野	恵	理	子									
ミ	ニ	ト	マ	千			果				三	種	町			秋	田	や	ま	も	と	(働)	こ	っ	こ	ち	ゃ	ん	フ	ァ	ー	ム	成	田	昇
ヤ	マ	ノ	イ	大	館	1	号				大	館	市			あ	き	た	北		前	田	主	幸											
ヤ	マ	ノ	イ	大	館	1	号				大	館	市			あ	き	た	北		佐	藤	岳	杜											
食		彩	花	金	魚		草	(黄)			北	秋	田	市		秋	田	た	か	の	す	(有)	栄	物	産	久	榮								

切花(スプレーギク)	オ リ ー プ	三 種 町	秋田やまもと	関 昇 誠
切花(スプレーギク)	セ イ バ ー ニ ン グ	三 種 町	秋田やまもと	関 駿 介
切花(スプレーギク)	フ ェ リ ー	男 鹿 市	秋田なまはげ	吉 田 洋 平
切花(ソリダコ)	タ ラ	三 種 町	秋田やまもと	関 鈴 子
切花(ダリア)	N A M A H A G E チ ー ク	秋 田 市	秋田なまはげ	嵯 峨 卓 夫
切花(ダリア)	N A M A H A G E ニ ュ ア ン ス	秋 田 市	秋田なまはげ	長 谷 部 健
切花(ダリア)	N A M A H A G E ノ ア ー ル	秋 田 市	秋田なまはげ	三 浦 桐 子
切花(ダリア)	N A M A H A G E パ ー ル	秋 田 市	秋田なまはげ	渡 邊 美 由 紀
切花(ダリア)	N A M A H A G E ピ ー ス	秋 田 市	秋田なまはげ	伊 藤 錚 悦
切花(ダリア)	彩 雪	大 館 市	あきた北	藤 盛 久 登
切花(ダリア)	大 曲 の 花 火 橙 炎	仙 北 市	秋田おぼこ	石 橋 覚
切花(ダリア)	か ま く ら	大 館 市	あきた北	畠 山 睦 正
切花(ダリア)	ム ー ン ワ ル ツ	秋 田 市	秋田なまはげ	佐 々 木 善 明
切花(ダリア)	夢 の 華	横 手 市	秋田ふるさと	(農) M・F・C 代表 羽川 和宏
切花(ディスプレイマム)	セ イ ノ ー マ ン サ ニ ー	大 仙 市	秋田おぼこ	田 村 辰 徳
切花(ディスプレイマム)	セ イ ロ ッ サ	美 郷 町	秋田おぼこ	高 橋 広 樹
切花(ディスプレイマム)	フ ェ リ ー	羽 後 町	う ご	佐 藤 義 和
切花(トルコギキョウ)	セ レ ブ ク リ ス タ ル	横 手 市	秋田ふるさと	高 橋 茂 樹
切花(リンドウ)	あきたのファンタジー	由 利 本 荘 市	秋田しんせい	眞 坂 栄 子
切花(リンドウ)	フ ィ ナ ー レ	由 利 本 荘 市	秋田しんせい	村 上 孝 一
切花(リンドウ)	深 山 秋	藤 里 町	あきた白神	菊 地 昇 一
切花(小ギク)	精 よ な が	横 手 市	秋田ふるさと	渡 部 賢 義
切花(輪ギク)	精 の 一 世	大 仙 市	秋田おぼこ	田 村 辰 徳
種苗(パンジー)	パシオイエローブロッチ	に か ほ 市	秋田しんせい	佐 々 木 藤 子
種苗(パンジー)	パシオパープルイエローブロッチ	に か ほ 市	秋田しんせい	奥 山 香 織
種苗(パンジー)	マトリックススカーレット	に か ほ 市	秋田しんせい	齋 藤 典 芳
種苗(ピオラ)	ソルベXPイエローブロッチ	に か ほ 市	秋田しんせい	佐 々 木 紀 夫
種苗(ピオラ)	天 使 の 誘 惑	に か ほ 市	秋田しんせい	渡 辺 奈 央
乾燥野菜	ふ じ り ん ご	北 秋 田 市	秋田たかのす	(南) 栄 物 産 代表 藤嶋佐久榮
瓶詰	な つ は ぜ ジ ャ ム	三 種 町	秋田やまもと	笹 村 敬 一
民芸品	こ だ し	八 峰 町	秋田やまもと	金 谷 則 雄
はちみつ	ア カ シ ア	横 手 市	秋田ふるさと	佐 藤 長
イネホールクroppサイレージ	あ きた こ ま ち	大 仙 市	秋田おぼこ	菅 野 恵 介
イネホールクroppサイレージ	あ きた こ ま ち	羽 後 町	う ご	小 野 浩 二
乾牧草	リ ー ド カ ナ リ ー グ ラ ス	由 利 本 荘 市	秋田しんせい	畑 山 清 和
生しいたけ	K A 1001 号	八 峰 町	秋田やまもと	江 守 幸 広
生しいたけ	K A 1001 号	八 峰 町	秋田やまもと	(南) 峰 浜 培 養 常務 松森 貴
生しいたけ	北 研 705 号	横 手 市	秋田ふるさと	眞 田 紘 美
生しいたけ	北 研 902 号	八 峰 町	秋田やまもと	薩 摩 晃 大

顕彰状に輝く人々

種	類	市 町 村 名	J A 名	受賞者名
水		稲	秋 田 お ば こ	須 田 喜 彦
ホ	ッ	大 館 市	あ き た 北	吉 原 正
日	本 な	湯 上 市	あ き た 湖 東	石 川 玉 夫
ネ		能 代 市	あ き た 白 神	清 水 健 吾
ネ		湯 沢 市	こ ま ち	佐 藤 義 粹
キ	ユ ウ	羽 後 町	う	長 谷 山 薫

第39回秋田県学校農園展受賞校

最 優 秀 賞	秋 田 県 知 事 賞	N H K 秋 田 放 送 局 長 賞	大 館 市 立 第 一 中 学 校
優 秀 賞 1 席	秋 田 県 教 育 委 員 会 教 育 長 賞		秋 田 県 立 栗 田 支 援 学 校
優 秀 賞 2 席	家 の 光 協 会 会 長 賞		秋 田 県 立 比 内 支 援 学 校 か づ の 校
優 良 賞			秋 田 県 立 比 内 支 援 学 校
優 良 賞			秋 田 県 立 比 内 支 援 学 校 た か の す 校
優 良 賞			能 代 市 立 湊 城 西 小 学 校
優 良 賞			秋 田 市 立 豊 岩 中 学 校

他 参 加 校 秋 田 県 立 能 代 支 援 学 校 秋 田 県 立 横 手 支 援 学 校
 大 仙 市 立 高 梨 小 学 校 湯 沢 市 立 雄 勝 小 学 校

第40回秋田県産米品評会

本年度は新型コロナウイルスの感染拡大を避けるため、秋田県産米改良展での出品物の展示を行わないこととしました。

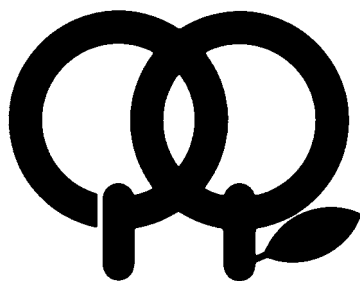
記載は、種類・品種名・市町村名・J A名・受賞者名の順。

秋田県産米改良協会会長賞

最優秀賞	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	由利本荘市	秋田しんせい	長谷部重美
	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	秋田市	秋田なまはげ	浅野栄一
	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	由利本荘市	秋田しんせい	齋藤靖
	水稲うるち玄米	めんこいな	能代市	あきた白神	大倉均
	水稲うるち玄米	あきたこまち	東成瀬村	こまち	高橋正弘
	水稲うるち玄米	あきたこまち	湯沢市	(株)丸富商店	斉藤輝幸
	醸造用玄米	秋田酒こまち	湯沢市	こまち	渡部秀和
優秀賞	水稲うるち玄米	あきたこまち	秋田市	秋田なまはげ	高橋恒悦
	水稲うるち玄米	あきたこまち	にかほ市	秋田しんせい	阿部静夫
	水稲うるち玄米	つぶぞろい	由利本荘市	秋田しんせい	齋藤靖
	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	にかほ市	秋田しんせい	齋藤和寛
	水稲うるち玄米	あきたこまち	美郷町	秋田おばこ	佐藤繁美
	水稲うるち玄米	あきたこまち	羽後町	うご	佐藤勝博
優良賞	水稲うるち玄米	あきたこまち	小坂町	かづの	奈良延浩
	水稲うるち玄米	あきたこまち	大館市	あきた北	高橋恵嗣
	水稲うるち玄米	あきたこまち	北秋田市	秋田たかのす	藤田久悦
	水稲うるち玄米	あきたこまち	能代市	あきた白神	安井唯男
	水稲うるち玄米	あきたこまち	三種町	秋田やまもと	工藤広一
	水稲うるち玄米	あきたこまち	三種町	秋田やまもと	田中良
	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	由利本荘市	秋田しんせい	三浦哲太郎
	水稲うるち玄米	あきたこまち	大仙市	秋田おばこ	佐々木千代子
	水稲うるち玄米	めんこいな	美郷町	秋田ふるさと	高橋雄孝
	水稲うるち玄米	あきたこまち	横手市	(株)中嶋貞助商店	(有)ナカジマ農場

特別賞

農林水産省農産局長賞	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	由利本荘市	秋田しんせい	長谷部重美
農林水産省東北農政局長賞	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	秋田市	秋田なまはげ	浅野栄一
秋田県知事賞	水稲うるち玄米	ひとめぼれ	由利本荘市	秋田しんせい	齋藤靖
秋田県農業協同組合中央会代表理事長賞	水稲うるち玄米	めんこいな	能代市	あきた白神	大倉均
全国農業協同組合連合会秋田県本部県本部長賞	水稲うるち玄米	あきたこまち	東成瀬村	こまち	高橋正弘
秋田県主食集荷商業協同組合理事長賞	水稲うるち玄米	あきたこまち	湯沢市	(株)丸富商店	斉藤輝幸
秋田県酒米生産流通対策協議会会長賞	醸造用玄米	秋田酒こまち	湯沢市	こまち	渡部秀和



シンボルマークの説明

~~~~~

公募により昭和52年8月11日制定。  
左の円形で秋田の頭文字「ア」を表し、右の円形で若芽の伸びる姿を圖案化したもの。また、この2つの輪が農業県秋田の限りない躍進と県民の和を象徴する。

作者 鈴木晴夫氏 (秋田市)